

【目標に基づき実施する事業の検討】

「働く人の満足度が高い団地」の実現に向けて

従業員や家族も参加できるイベントの実施など福利厚生や働く人の利便性の向上を目指します。



災害に強い団地の実現に向けて

組合の防災計画の策定をはじめ、組合員への研修・啓発の取り組みを検討します。



次世代が輝く団地の実現に向けて

青年部（仮）創設の検討など次世代人材の育成や若い人が働き続けられる環境整備について検討します。



地域に貢献する団地の実現に向けて

みはら区民まつりへの出展の継続や公開講座の開催検討を行います。



ビジョンの実現に向けて

事務局職員の補充をはじめ、組合の経営基盤の強化を図るとともに、情報発信や団地内インフラ整備充実の検討を進めます。

【おわりに】

今回のビジョンは、当協同組合をめぐる内部環境および外部環境の変化も見据え、「組合と組合員の絆の強化」、「激変する外部環境変化に対応できる組合・組合員への体質強化」の二つを大きなテーマとし、「ビジョンの目標として、①働く人の満足度が高い団地、②災害に強い団地、③次世代が輝く団地、④地域に貢献する団地の4つの柱を提示いたしました。

この4つの目標は、アンケート調査での組合員のニーズをベースとしたものでありますが、変化が大きく、先行きが見通しにくい状況で、「足元」と「将来」を見据えた方向性を提示できたことは、大きな収穫であったと考えています。

今後は、理事会および各委員会、本ビジョンで示された各事業の検討がなされること、そしてその実現が永続的な組合と組合員並びに工場団地の発展に寄与することを期待しています。

(2014中期ビジョン報告書抜粋)

2014中期ビジョン策定PT委員会
委員長 浦本雅史

特集

大阪木材 工場団地協同組合 「2014中期ビジョン」

当協同組合では、これまで5回の中期ビジョンを策定し、効果のある組合事業推進に取り組んで参りました。特に前回の2008中期ビジョンでは、「働く人の満足度が高い工場団地」、「環境問題の解決に寄与する工場団地」、「地域に貢献する工場団地」の3つの大きな目標を基に、「団地内インフラ施設の公共移管」や「創立50周年記念各種事業」、「新飲食施設建設」など、継続課題の完結や新しい事業への取り組みを推進して参りました。

前回ビジョン策定から5年以上が経過して、その間に起こった「リーマンショックによる世界同時不況」、「東日本大震災の発生」等々の激変する社会情勢や、当協同組合の内部環境も組合員企業の入替わりや理事長の交代、新しい役員等の選任等の変化があり、協同組合内外の大きな変化をふまえて、前回ビジョンの確認精査と今後の協同組合の指針となる方向性と具体的新事業を打ち出していくことを目的に、新たに「2014中期ビジョン」を策定いたしました。

要約フローは次の通りです。

「2014 中期ビジョン」の概要

